

## ならちゅうしん経営研究会 例会報告

### 第 376 回 研究会

**日時** 令和 6 年 6 月 19 日(水) 午後 4 時 ~ 午後 5 時 30 分  
**場所** 奈良中央信用金庫 3 階 ホール  
**講師** 野村アセットマネジメント株式会社  
シニア・ストラテジスト 石黒 英之 氏  
**テーマ** 「当面のグローバル市場見通しと投資戦略」  
～リスク材料を点検する局面続くも中長期株高基調に変化なし～

最初に、芳仲会長より開講の挨拶があり、今年度の経営研究会を締めくくる経済セミナーを開始しました。今回は野村アセットマネジメント株式会社よりシニア・ストラテジストの石黒英之様をお招きして「当面のグローバル市場見通しと投資戦略～リスク材料を点検する局面続くも中長期株高基調に変化なし～」と題して、お話を頂きました。石黒先生はテレビ東京系列のモーニングサテライトにゲスト出演されており、テレビでもお馴染みのエコノミストです。

まず最初に、世界の市場を取り巻く環境について解説いただきました。

円安の影響について、輸出企業にはプラス効果がある一方で一般の家計には圧迫要素となります。日本の家計の金融資産が過去最高の 2,141 兆円に達した一方現預金が過去最高の 1,127 兆円となっており、多くの人々がインフレの意味を理解できていないと分析されています。また、日本の賃金が上がりつつあり、物価上昇以上に給料が上がる時期が来ているとのことです。

続いて、世界市場のリスク要因について解説を頂きました。短期的には中東の地政学リスクやハイテク業界の業績動向がリスク要因であり、中長期的にはアメリカのインフレ動向や金融政策動向は落ち着くものの、商業用不動産の信用リスクが懸念されるとのことです。また、講演日当日に時価総額世界 1 位となったエヌビディアを代表とする半導体業界についても言及があり、現在 AI が業務効率化に大きく貢献しており、AI の普及による生産性向上が企業業績を押し上げ、株価が上昇しています。今後も AI の消費電力問題を解決する電力消費を大幅に削減した新型半導体が開発され、利益が伸び半導体関連の株価の上昇は続く予想されるとのことです。

アメリカのインフレが徐々に落ち着いているとのことです。日本では、企業業績は良好であり不動産市場も堅調に推移しているためある程度、金利が上昇しても懸念はないとの見解です。日本株はアメリカ株に対して PER、PBR とも割安であり余力が十分にあるため、今後株価が大きく変わると予想されています。

最後に日本の労働市場が人出不足であることから持続的なインフレが起りやすい状況

になっていると分析されています。日本人の転職意識が高まると予想され、その背景として人出不足や情報の透明性を挙げておられます。日本の個人資産が増えており、投資や行動を起こす人々が経済に大きな影響を与えていると述べておられます。

講演のあとも、参加者より内外の経済動向に対する多くの質問があり、今年度最後の経営研究会を締めくくりました。

以 上



芳仲会長 ご挨拶



講師 野村アセットマネジメント 石黒 英之